

新しい目黒区政をつくる会

2024 January

新年号



目黒区総合庁舎

新しい目黒区政をつくる会とは

目黒区の発展と区民生活の向上を図り、あわせて会員相互の親睦を深めることを目的とした有志で立ち上げたグループです。これからの目黒区を、新しい目黒区政をつくる会と共に考えてみませんか？興味のある方はお気軽にご連絡ください。ご意見、ご感想もお待ちしております！

MEGURO

■編集・発行元 新しい目黒区政をつくる会
〒153-0053 目黒区五本木1-15-17

2023年12月4日 伊藤ゆう都議が記者会見を行いました!



会見中の伊藤都議

誇りを持てる目黒区にするため、区民の皆様と共に走り続ける決意を表明した伊藤ゆう都議。

政治団体「新しい目黒区政をつくる会」は、伊藤都議の基本政策とこれまでの実績を評価し、推薦を決定しました!

新時代へ「20年ぶりの新風でありたい」今、目黒が変わるとき。

伊藤都議の決意(抜粋)



日本全国を変えるモデル都市に変革したい!

目黒区には発信力のある多彩な人材が暮らしています。目黒区独自の政策を打ち出せば、全国に広がり、日本を一気に変える潜在力を秘めています。しかし、残念ながら、**目黒区モデルとして全国に知られる政策は20年間見受けられません**でした。**理想とする社会像をトップが明確に描き、示し、実現すれば、目黒区はもっといい街になると確信しています。**

都議の限界! つくった予算が使われない!

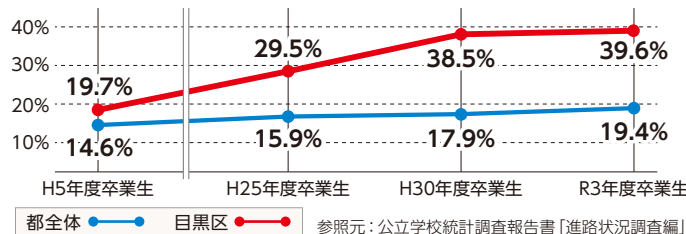
塾に頼らなくても希望の進学ができる社会を目指し、**私は東京都議会議員として、小中学校に「放課後教室」をつくる予算を都から獲得しました。妊娠から子育てまで切れ目のない支援をする「産前・産後サポート」の予算も、「子どもの居場所づくり」の予算も獲得しました。ところが、目黒区の活用実績はゼロです。目黒区が決断しない限り、皆様のお役に立てないジレンマを抱えてきました。それが私の決断の理由の一つです。**

目黒区は何をするにも、23区の様子を見ながら政策決定することで知られ、いつの間にか「13番目の区」と言われるようになりました。そして、出生率は23区ワースト2位レベル

の「0.96」まで落ち込み、目黒区の小学生の私立中学校への進学率は39.6%、23区でもトップレベルです。この20年間で公立中学校が3校も廃校となるほど中学受験が進み、小学生の塾通いが当たり前になりました。

失われたのは、子どもの遊ぶ時間、家族と旅する時間、親が自由に使えるお金です。介護の受け皿不足も深刻化しており、目黒区には様子見を決め込む時間はありません。

●小学校卒業生 都内私立中学校への進学率の推移 **H5、H25、H30、R3**



20年ぶりの新風でありたい!

20年間、変わることがなかった長期区政で、**目黒区役所には「ことなかれ主義」の空気が立ち込めています。果敢に挑戦する区、未来からの要請に応えられる区へと変えていきましょう。私は、20年ぶりの新風でありたい、未来からの風でありたい**と思っています。

目黒区の課題に迫る!

✓ 私立中学校への進学率39.6%の目黒区!

全ての公立中学校に「放課後教室」設置で、公教育への不安払拭へ。



私立中学校への進学率の都内平均が19.4%に対し、目黒区は39.6%と倍以上。公教育への不安が原因だと考えられます。伊藤都議は「放課後教室」の予算を都に準備させました。目黒

区で、すべての学校に「放課後教室」を設置、大学生や塾講師などの協力を得ながら、塾の機能を学校に取り込んでいきます。

✓ 「できる」公園づくりにはパークミーティングが必要!

人にも犬にも快適な公園利用のルールを決めるパークミーティングを設置します。



目黒区内の公園にはそれぞれ禁止事項があります。一方で、キャッチボールや犬の公園利用など「できる規定」が少ないのが現状です。公園ごとにパ

ークミーティング

を設定し、人にも犬にも快適な公園利用のルールを設定できる仕組みをつくりま

す。林試の森公園には、犬も一緒に利用できる「カフェ」の設置を進めます。

✓ 介護人材が足りない! 在宅介護への支援が足りない!

二世帯住宅への新築・改築補助金の創設を

介護人材の人件費補助が急務です。加えて家賃補助を行い、目黒区で働く介護人材を確保します。また、自宅での介護を目指す世帯への支援が不足しています。新たに「二世帯住宅」への新築・改築補助金を創設するほか、二世帯住宅には固定資産減税の軽減拡充ができるように関係機関に働きかけるなど、施設、在宅ともに介護環境改善の支援を行います。



✓ 避難所の電源が足りない! 公共施設に太陽光パネルの設置を

避難所にたどり着いたらまず家族の安否確認、そして災害情報の収集ではないでしょうか?

しかし、避難所に電源があるとは限りません。そのような時に、小中学校の体育館の屋上に太陽光パネルがあったらどうでしょうか。少なくとも携帯の充電ができます。

しかし、目黒区の小中学校の体育館の屋上に太陽光パネルが設置されているのは3箇所だけです。しかも非常用電源として使える設計になっていないのか分からないそうです。



区が学校に太陽光パネルを設置する場合、費用の4分の3を国と都が出してくれる仕組みが既にありますので、これらを活用して太陽光パネルを設置していきます。

機関紙

新しい目黒区政をつくる会

2024 January

1

伊藤都議の活動発信中!

@yuuito1202

@itoyuu1202

@itoyuu1976

各SNSをCheck!



紹介動画配信中!

伊藤都議のプロフィールや基本政策に興味がある方はぜひアクセスを



itoyuu.tokyo

伊藤ゆう 検索

伊藤都議を「もっと知りたい」方はこちらへ!

LINE 公式アカウント

ぜひご登録ください!!

